

上信自動車道（長野原孺恋バイパス） バイパス整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

地域の発展と住民の利便性向上を図るため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・地域の発展のため、移動を便利にしてほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・温泉地やスキー場などの観光地に、人を呼び込み観光客を増やしたい。（地元住民）

事業前

◆線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に5回発生しています。（H19～R1）



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

事業前の状況

事業後

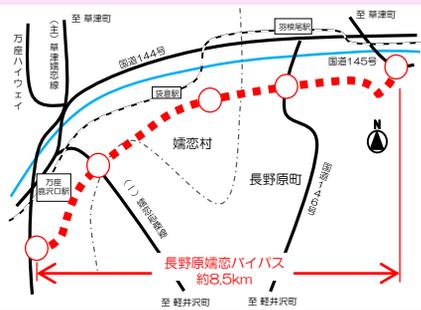
◆幅員が広く、見通しの良い道路となります。
◆バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが解消され、利便性も向上します。



事業後のイメージ

事業の概要

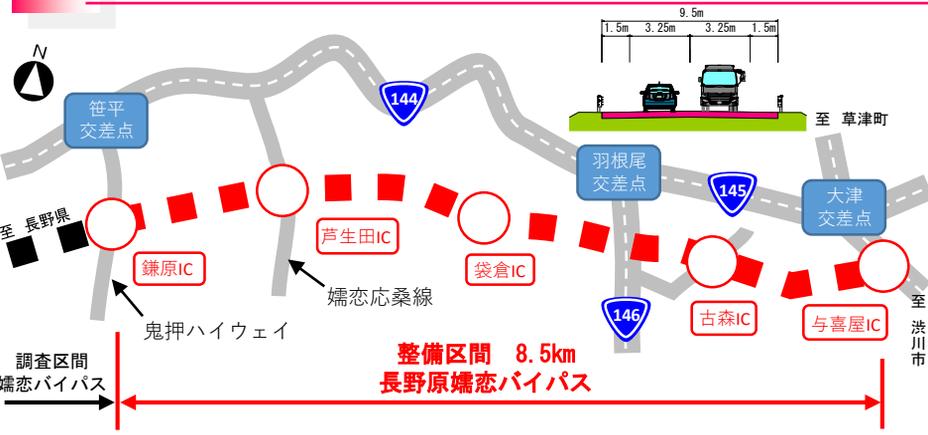
- 事業箇所：長野原町与喜屋～孺恋村鎌原
- 事業内容：バイパス整備
延長 8.5 km 道路幅 9.5 m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、用地調査を進めます。



事業のすすみ具合

